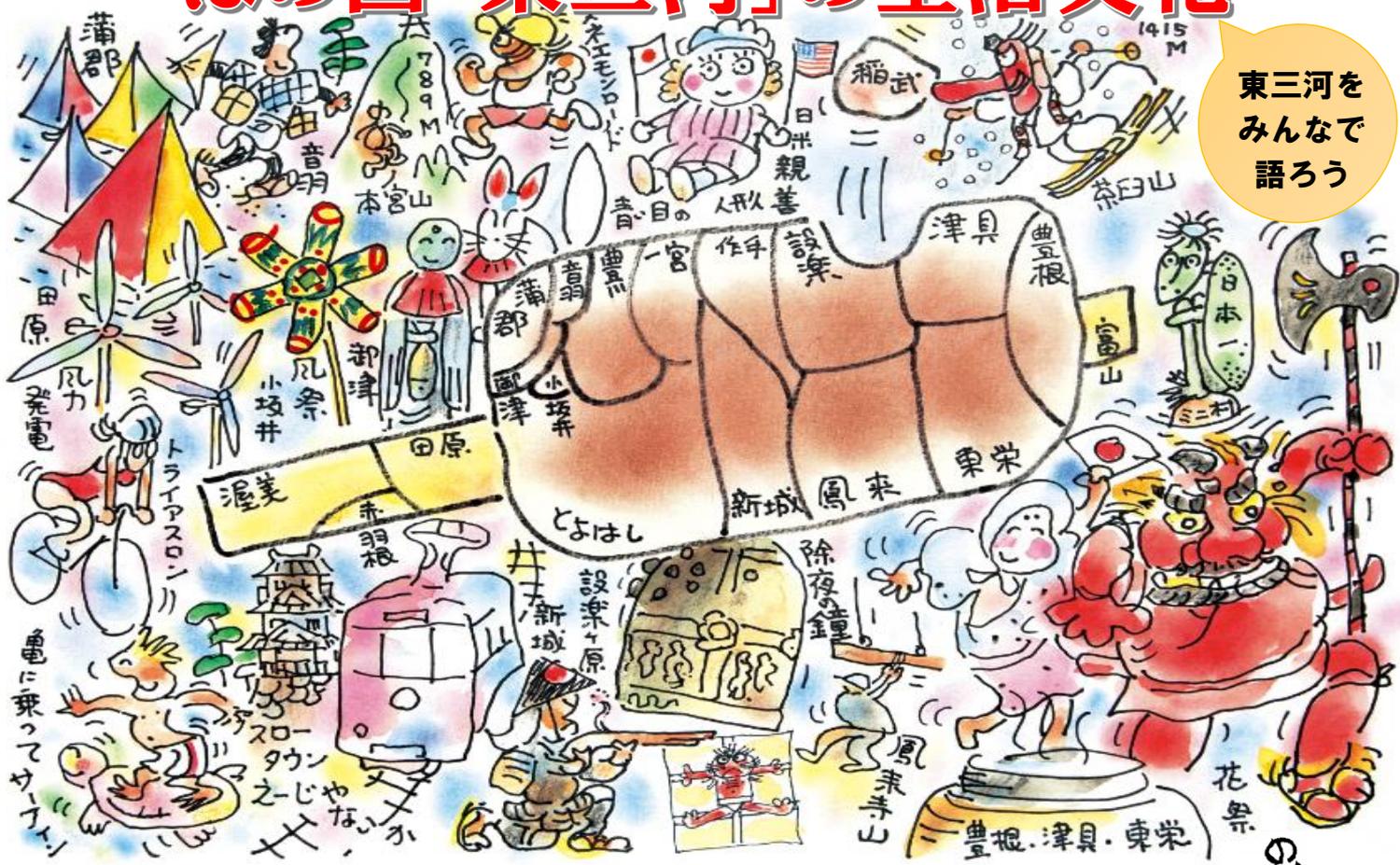


ほの国通信を特別配布

ほの国通信編集者と歩く

# 「ほの国・東三河」の生活文化



東三河を  
みんなで  
語ろう

日本列島のちょうど真ん中。奥三河の山々から平野部を経て渥美半島の海辺まで風土の変化に富んだ東三河。そこは「文化・自然・交流」が絶妙にバランスした郷(くに)です。でも、私たちはどれだけ東三河を感じているのでしょうか？一度、過去から未来に向けて東三河学をひも解いてみませんか！

回	日	曜日・時間	内 容	講師
1	8月25日	日曜日	言葉、生活、文化	ほの国通信編集者
2	9月1日	13:30 ~15:00	自然、道・水、生業(なりわい)	永田 修
3	9月8日		暮らし、まつり、人びと	中西 正 + 1人

定員:40人 会場:ミナクル・大清水まなび交流館 南稜地区市民館 豊橋市HP

受講料:1500円 参考図書(テキスト)として「ほの国通信総集編」を活用します。この冊子は無料です

申込:8月10日(土)までにミナクル南稜地区市民館 ☎0532-26-0010 まで 応募多数の場合抽選

## 参考図書「ほの国通信足かけ十年」について

「ほの国通信」は東三河の生活に密着し様々な暮らしを取材した「特集」、地域の今をピンポイントで掘り下げた「道草物語」、ほの国内の自然を丹念に調べた「ほの国自然館」、それぞれに伝わる秘話・こぼれ話を取り上げた「ほの国漫歩手帳」、各地の祭礼と生活とのつながりをひも解く「ふるさと歳時記」で構成され、現在の東三河広域連合の前身組織で毎年2回発行していました。延べ10年に及ぶ取り組みを「ほの国通信総集編」として1冊にまとめたオールカラー342頁の本です。

